

予算決算常任委員会建設経済分科会会長報告

建設経済分科会に送付されました、「議案第55号」令和8年度北本市一般会計補正予算（第2号）について審査内容の主なものを御報告いたします。

◎「議案第55号」市民経済部関係について

（１）衛生費国庫補助金及び衛生費県補助金に関して

「県補助金であるネイチャーポジティブ推進事業補助金が850万円の減額となり、国庫補助金である国立公園等資源整備事業費補助金が856万5,000円の増額となった理由について」質疑したところ、「公共施設のクビアカツヤカミキリ対策の経費については、県補助金であるネイチャーポジティブ推進事業補助金を財源としていましたが、国庫補助金が充当できる見通しとなったことから国立公園等資源整備事業費補助金に振替えるとともに、県補助金を活用して民間を対象に補助制度を創設します」との答弁がありました。

（２）衛生費のうち環境衛生費に関して

「クビアカツヤカミキリ対策事業補助金の積算根拠について」質疑したところ、「伐採に係る補助については、令和7年度中の殺虫剤の配布件数52件を参考に、伐採を必要と想定する件数を40件、また1本当たり10万円と想定し、その2分の1を補助する場合の単価を5万円と見込み、合計200万円と積算しました。薬剤防除に係る補助については、少なくとも2万円を要すると見込み、件数を50件、合計100万円と積算し、伐採と薬剤防除を合わせて300万円を予算計上しました」との答弁がありました。

「果樹や農産物などの農業従事者は、クビアカツヤカミキリ対策事業補助金の対象となるのか」と質疑したところ、「商品作物に対するクビアカツヤカミキリ被害については補助の対象外です」との答弁がありました。

以上、報告いたします。